

# 「一つでも多く勝ちたい」

## 光星高男女 バスケット部 本社訪れ全国出場報告

10月21、22日に行われた「第70回全国高校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ)青森県予選」



全国選抜大会出場を決めた八学光星高バスケットボール部。29日、八戸市のデーリー東北新聞社

で、アバック優勝を果たした八学光星高バスケットボール部の選手や関係者9人が29日、八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、12月23日に開幕する全国大会(20日・東京)への出場を報告した。選手たちは本番に向けて「一つでも多く勝利したい」と気合十分だ。

県予選決勝では、男子は工大一との八戸勢対法を大差で制し、2年連続V。県高総体との2冠も達成した。佐々木彰彦監督は「チームとして良いプレー、悪いプレーを確認し、選手それぞれが自分の役割に責任を持ってくれた」と評価する。

女子は県高総体覇者の柴田と優勝を懸けて対戦。準決勝で宿敵・三沢商に勝利した勢いそのままに、粘り強いプレーで食らい付き、後半に逆転。初の栄冠を手にした。小野寺實監督は「総力戦で挑んだ。僅差で敗戦したこれまでの悔しさを持って戦えた」と感慨深げに語った。

全国大会では、男子が県立豊浦(山口県)、女子が

倉吉北(鳥取県)との初戦に臨む。男子の久保田烈主将は「初戦突破を目指す、女子の駒沢杏主将は「思い切ったプレーをしたい」とそれぞれ意気込んだ。